

令和4年6月27日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)
会長名 倉田 晃



事業の評価書

別紙のとおり安全パトロール実施事業の評価を報告します。

事業名	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	<p>実施前は小学校の登校時に、主に民生委員等による見守りがあつた。平成20年9月より実施し、当初小学校の登校日を中心に、H20年は、1回1時間、1日6回のパトロールからスタートし、H21年は、1日4回に組み直して実施した。</p> <p>H24年は、小学校の曜日毎、学年毎の下校時刻に応じてスケジュールの見直しを行った。H25年度は、1回1時間、1日2～3回のパトロールを実施した。</p> <p>H26年度は、登校予定日、小学校の曜日毎、学年毎の下校時刻の違いに応じて、より細かくパトロールスケジュールの見直しを行い、月曜日から金曜日の間、7時30分から1時間、15時50分から1時間、19時から1時間の1日3回のパトロールを実施した。</p> <p>H27年度以降は、小中一貫校のほそごう学園に統合されたことにより、細河地区の中学生、小学生はスクールバスで登下校することになり、主に伏尾台地区の小・中学生の登下校を見守ることになった。</p> <p>朝の登校時に定点立ちを主に行う挨拶運動、下校時に合わせた午後のアナウンスを行う走行によるパトロール、夜間アナウンスが可能な時間帯の走行によるパトロールを継続して行った。</p> <p>H27年10月以降、コミュニティプラザを開設してからは、青パト車の駐車をプラザの南側に設定できたので、隊員のアクセスが良好になった。</p> <p>H30年、大遊協から提供された青パト車(デイズ)が配備された。同時に、除隊の申し入れが多くなり、隊員補充が全く進まず、2台のパトロール車体制の構想が実現できていない。</p> <p>R1年、隊員の高齢化が進み、80歳を機に除隊の申し出が多くなった。</p> <p>R2年、コロナ禍感染防止のため、5月は2人乗務のパトロールを中止した。その後は、朝は定点立ちによるパトロールとし、昼、夜の乗務時の外気導入を積極的に行いパトロールを実施した。</p> <p>なお、事業開始時から使用している青パト車の整備に、予定外の故障が発生しており、整備費が嵩んだ。さらに、R3年2月、3月と連続してパンクに見舞われたので、安全確保のため、タイヤ4本を交換した。</p>

事業名	安全パトロール実施事業
事業実施後の状況	<p>巡回スケジュールは、日中は、ほそごう学園の開校日並びに登校・下校時間に合わせて行い、巡回を行った。特に朝は定点立ちパトロールと挨拶を実施し、また、夜間の巡回を併せて行うように計画した。安全パトロールは、通年、一回当たり1時間これを実施した。</p> <p>巡回時には、バス通りのみならず、伏尾台の周辺地域ならびに公園を重点的にチェックするように心がけた。</p>
事業の効果	<p>パトロールを継続して行った結果、空き巣等の防止に繋がり、防犯カメラ事業との相乗効果も有り、毎年空き巣犯罪"0"を更新できていたが、H27、28年度は侵入盗事件が各1件発生した。また、29年、30年、31年度共に不審者情報が多数回寄せられているため、巡回時には、バス通りのみならず、伏尾台の周辺地域ならびに公園を重点的にチェックするよう隊員に要請した。</p> <p>R2年より、朝のパトロールは走行よりも1丁目、4丁目交差点、中央公園などで定点立ちパトロールとし、ほそごう学園生を始めとする学生、通勤者らにあいさつの声掛けを積極的に行うことができた。</p> <p>下校時並びに夜間の巡回時には、車載スピーカーを用いた放送により、登校下校時の子供の見守り、戸締まり方法、不審なセールス、アンケート調査への注意、夜間の不法駐車禁止を呼びかけることができた。</p> <p>R2,R3年の1学期はコロナ禍であり、ほそごう学園1、2年生は交通安全の実習を行なっていなかったため、パトロール隊員がパトロール車を学園内に持ち込み、指導を行なった。また、1、2年生の徒歩による農業体験地への移動時に、横断歩道の通行を指導した。</p>
今後の課題等	<p>隊員の減少と現隊員からの出動の曜日や時間帯の変更の申し出、さらに夕刻以降の乗務希望者が限定されるため、運行スケジュール立案が事務担当者の大きな負担である。</p> <p>運行スケジュールの立案とともに、車両の整備、燃料補給などの事務方の処理量が増大している。</p> <p>隊員の高齢化が進み、毎年、80歳を機に除隊の申し出が多くなったため、助手席乗務をお願いしている。R3年は減少分補充ができたが、助手席乗務の高齢者補充となっている。現在まで、パトロールにおいて、幸い事故は全くなく、このまま安全にパトロールができることを願っている。</p>

令和4年6月27日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)
会長名 倉田 晃



事業の評価書

別紙のとおり、地域コミュニティ推進協議会拠点運営事業の評価を報告します。

事業名	地域コミュニティ推進協議会拠点運営事業
事業実施前の 状況	<p>コミュニティ推進協議会の活動拠点としての西公園事務所は、伏尾台周回道路沿いで西公園南側と目立つ場所に看板と掲示板を設置して広報活動を行っている。</p> <p>また、西公園事務所は、地域の「防災・防犯委員会」の活動拠点として、会議の他、年末の防犯防火の巡回拠点として活用してもらっている。さらに、地域内に季節毎の花を植える活動を行う地区福祉委員会の「花の会」の活動拠点として利用してもらっている。</p> <p>平成27年10月3日に伏尾台コミュニティプラザを開設してその中に協議会事務所機能を移して、フリーサロン、子育て支援ルーム、まちの情報センターの運営を行なった。このプラザ事務所には光ケーブルを引きコピー・ファックス複合機を備えて事務所機能を充実させた。</p> <p>西公園事務所とプラザ内事務所との両方で活動を実施した。西公園事務所は、元来老朽化した床の損傷が進行したため、東側の半分の床の張り替えを行なった。</p> <p>平成30年度の伏尾台創生会議2020の事務や打ち合わせ、会議なども本事務所、コミプラで行われた。</p> <p>伏尾台地域に入ってすぐの目立つ立地条件のもと、webでのグーグル地図にも「伏尾台コミュニティ推進協議会」と表示され、そのストリートビューには黄色い看板が目立っていたが、強風の台風で落下寸前となったため、直ちに撤去した。</p> <p>平成31年度(R1)は、地域活性化事業の伏尾台 山びこコンサート、落語の開催と事務処理等もコミプラ、本事務所で行なった。夏祭り実行委員会の事務や打ち合わせ、会議なども本事務所、コミプラで行われた。</p> <p>コミプラ内の子育て支援ルーム、フリーサロン、まちの情報センター、協議会事務所への来訪者は、平成28年度は7,903名、平成29年度は7,870名、平成30年度は7,597名、平成31年度(R1)は7,386名であった。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、支援ルームを閉めたり、利用制限を行なったため、支援ルームの利用は1,155名と半減し、フリーサロンなどへは3,774名が来訪され、プラザ全体で4,929名と40%程度の減少であった。</p>

事業名	地域コミュニティ推進協議会拠点運営事業
事業実施後の状況	<p>西公園事務所とプラザ内事務所との両方で協議会活動を実施した。月曜日から金曜日のコミプラの開館日に、3交代でスタッフが留守番を行い、子育て支援ルームや行政証明端末、送迎申し込みなどの対応を行い、閉館後にホールとトイレの清掃を行い、コミプラの維持管理を行った。</p> <p>R3年は、R2年に続いて新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、支援ルームを閉めたり、利用制限を行なったため、支援ルームの利用はコロナ禍前の3割程度と激減し、プラザ全体で40%程度の減少であった。</p>
事業の効果	<p>西公園事務所は、コミュニティ推進協議会はもとより、防災・防犯委員会並びに地区福祉の花の会の活動拠点として、それぞれ活用されている。</p> <p>伏尾台コミュニティプラザは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育て支援ルームを閉めたり、利用制限を行なう中、自動体温計とアルコール消毒液を設置し、来場者に使用を促し、常時換気を行うなど安全第一で運営を行なった。</p> <p>プラザ内に設けた子育て支援ルーム、フリーサロン、まちの情報センター、協議会事務所への来訪者は、4月1日より翌年3月31日までの実績で4,500名である。子育て支援ルームのみの利用者は、使用制限を行なったため、623名と激減し、フリーサロンなどへはらくらく送迎の利用者が多くなり、3,877名が来訪された。</p>

事業名	地域コミュニティ推進協議会拠点運営事業
今後の課題等	<p>コミプラのフリーサロンの利用者数は例年同様にあることから積極的な利用を図りたい思いがあったが、コロナ感染症の拡大は今後も続くと考えられ、市役所へ出掛けなくて済むキオスク端末の利用は増加傾向を示しており、また、トイレのみの利用も多くなっており、常時換気と閉館後の消毒を行いたい。掃除スタッフの不足と共にコロナ対策が衛生上の懸念として続いている。</p> <p>子育て支援ルームの利用は年々減少しており、人口減少で未就園児の絶対数が少ない。社協のファミリーサポート事業の会場として利用できるようにしているが、利用者の増加には結びついていない。幼稚園児との共同利用を考えるが、未就園児への安全性の確保が問題となり、コロナ対策上も、現在のところ未就園児限定の利用しかない。</p> <p>一方、R3年度内に子育て支援ルーム利用者において第2子や第3子の出産が相次いでおり、送迎サービスと併せてコミプラを中心にした拠点運営の効果が出ていると感じられる。</p> <p>プラザ事務所としては、コミュニティプラザがボランティア支援を含む「まちの情報センター」としての機能は発揮できているが、今後、地域諸団体との連携、さらにはまちの不動産情報、特に空き家対策事業などさらに広範囲の情報センターとして機能させたい。</p> <p>コミプラの留守番役のスタッフ、現在13名（掃除スタッフ兼務2名）でローテーションを組んでいるが、減少の上、依然として絶対数が不足し、募集を行うも応募が全くないことが、運営上切迫した問題のまま続いている。</p> <p>複数年度の事業検討として、伏尾台の特色ある公園作りを目指しており、西公園の再整備案とともに、西公園事務所には、遊歩道側に独立したトイレが設置されているので、これを整備して遊歩道側に解放することで、散歩中の人や隣接する西公園を訪れる地域の方に利用してもらえるようにしたい。</p>

令和4年6月27日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)
会長名 倉田 晃



事業の評価書

別紙のとおり、コミュニティサロン設置事業の評価を報告します。

事業名	コミュニティサロン設置事業
事業実施前の状況	<p>伏尾台には2つのコミュニティセンターがあるが、利用には事前予約が必要であり、散歩の途中に立ち寄り休憩する処、待ち合わせや談笑する処、急に自治会の役員同士が打ち合わせする際など、気軽に利用できる施設がなかった。</p> <p>平成27年10月伏尾台マンションの1階店舗部分を改修し、「伏尾台コミュニティプラザ」を設け、その中に有償、無償のボランティア活動の供給者、需要者に対して、情報の発信収集並びに斡旋、調整を図るためのボランティアセンターを含むまちの情報センターを設置運営した。プラザ内に設けた子育て支援ルーム、フリーサロン、まちの情報センター、協議会事務所への来訪者には名簿に記載をお願いした結果、10月3日より平成28年3月31日までの実績で3200名を超えた。</p> <p>平成28年度は7,903名、平成29年度は7,870名、平成30年度は7,597名で、子育て支援ルームのみの利用者は、2,309名であり、フリーサロンなどへは 5,288名が来訪された。</p> <p>里山の植物を紹介しているグループの展覧会場として利用された。</p> <p>総務省の推進事業で、池田市の伏尾台送迎サービス社会実験の会場として10月から12月に利用され、協議会会員がボランティアとして参加した。</p> <p>地域交通の未来を考える公開講座の会場として利用された。</p> <p>宿題カフェ会場として利用されている。</p> <p>夏祭り実行委員会の会議、事務に利用されている。</p> <p>ほそごう学園の地域学習の会場として利用されている。</p> <p>高齢者の居場所づくり意見会の会場として利用した。</p> <p>山びこフェスタの落語の会、音楽会の会場として使用した。</p> <p>令和2年1月より始まった「伏尾台送迎サービス」、地域内限定の無料の送迎サービスにおいて、送迎の始点、終点のポイントとして機能している。</p> <p>R2年度は、コロナ禍での伏尾台コミュニティプラザへの来訪者は、約4割減の4,929名である。子育て支援ルームのみの利用者は、半減して約1,155名であり、山びこフェスタのイベントを中止したが、フリーサロンなどへは3,774名が来訪された。</p>

事業名	コミュニティサロン設置事業
事業実施後の状況	<p>利用の形態は、日課の散歩の途中で休憩を取る方、待ち合わせやバスの時間待ちを行う方、フリースクールに通う生徒との待ち合わせを行う保護者、趣味の裁縫などをグループで行う方、自治会やサークル活動の打ち合わせ、小学校、中学校の宿題をグループで行う生徒、談笑するグループ、読書、昼食をする親子、孫と絵本を見る高齢者、買い物帰りに商品を仕分けする方、食事をする学生などまさにフリーサロンとして利用されている。</p> <p>令和2年1月より始まった「伏尾台送迎サービス」、地域内限定の無料の送迎サービスにおいて、送迎の始点、終点のポイントとして機能している。</p> <p>コロナ感染症の拡大と共に、山びこフェスタのイベントを中止し、従前のコミュニティサロンの利用者が大きく減少した。特に会議の類は利用者数を制限した会議をお願いした。</p> <p>その反面、らくらく送迎の利用者が増大してサロン自体の利用者減を補う形になっている。また、キオスク端末の利用が、コロナ禍で外出が控えられているため増加傾向にある。</p>
事業の効果	<p>伏尾台コミュニティプラザ内に設けた子育て支援ルーム、フリーサロン、まちの情報センター、協議会事務所への来訪者は、4月1日より翌年3月31日までの実績で4,500名である。子育て支援ルームのみの利用者は、使用制限を行なったため、623名と激減し、フリーサロンなどへはらくらく送迎の利用者が多くなり、3,877名が来訪された。</p>
今後の課題等	<p>利用者を増やすために、積極的に地域の住民が主催するイベント、講演、各種教室などの企画とともに、一時保育所の運営、高齢者と子どもたちが一緒に夕食を食べる「コミプラキッチン」の運営を行うなどの活動が必要であると考えていたが、今後ともにコロナ感染症の拡大に対応することが継続されると予測されるため、単純な利用者の増大を図るのではなく、地域の年齢構成を考慮した子供から大人の多世代交流を促進してコミュニティを形成できる、イベント開催を想定する必要がある。</p> <p>また、コミュニティプラザがボランティア支援を含む「まちの情報センター」としての機能は発揮できているが、今後、地域諸団体との連携、さらにはまちの不動産情報、特に空き家対策事業などさらに広範囲の情報センターとして機能させたい。</p>

令和4年6月27日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)
会長名 倉田 晃



事業の評価書

別紙のとおり、まちの情報センター運営事業の評価を報告します。

事業名	まちな情報センター運営事業
事業実施前の状況	<p>伏尾台にはコミュニティセンターやバス停の掲示板があり、自治会からのお知らせなどが掲示されているが、ボランティアの需要や供給に関する情報収集や提供がなかった。</p> <p>平成27年10月伏尾台マンションの1階店舗部分を改修し、「伏尾台コミュニティプラザ」を設け、その中に有償、無償のボランティア活動の供給者、需要者に対して、情報の発信収集並びに斡旋、調整を図るためのボランティアセンターを含むまちな情報センターを設置運営した。プラザ内に設けた子育て支援ルーム、フリーサロン、まちな情報センター、協議会事務所への来訪者には、名簿に記載をお願いしており、10月3日より平成28年3月31日までの実績で3200名を超えた。</p> <p>平成28年度は7,903名、平成29年度は7,870名、平成30年度は7,597名、平成31年度は7,386名で、子育て支援ルームのみの利用者は、2,176名であり、フリーサロンなどへは 5,210名が来訪された。</p> <p>R2年度は、コロナ禍での伏尾台コミュニティプラザへの来訪者は、約4割減の4,929名である。子育て支援ルームのみの利用者は、半減して約1,155名であり、山びこフェスタのイベントを中止したが、フリーサロンなどへは3,774名が来訪された。</p>
事業実施後の状況	<p>フリーサロン内の壁を掲示板として活用し、まちな情報を、「地域学校行政」「地域環境」「安心安全」「協議会」「コミプラ」「子育て支援」「各種支援」「ボランティア活動」の категорияに分けて種々掲示している。各種の活動紹介の依頼や、ポスターの掲示を願い出られるなど多くのグループに利用されている。</p> <p>ほそごう学園、フリースクール、地区福祉、社協、池田署、防犯委員会、人権文化交流センター、池田市公益活動促進協議会の広報紙などを展示している。</p> <p>市のキオスク端末が設置されて、行政証明書の発行手続き、写真印刷やコピーに住民が利用している。</p> <p>コロナ感染症拡大の影響で、利用者が減少する中、キオスク端末の利用者は増加している。</p>

事業名	まちなの情報センター運営事業
事業の効果	<p>伏尾台コミュニティプラザ内に設けた子育て支援ルーム、フリーサロン、まちなの情報センター、協議会事務所への来訪者は、4月1日より翌年3月31日までの実績で4,500名である。子育て支援ルームのみの利用者は、使用制限を行なったため、623名と激減し、フリーサロンなどへはらくらく送迎の利用者が多くなり、3,877名が来訪された</p>
今後の課題等	<p>フリーサロンは、日々は子育て支援ルームに訪れる母子、ほそごう学園の生徒が中心に利用しており、山びこフェスタのイベントの際や自治会、伏尾台創生会議、伏尾台夏祭り実行委員会などの会議の際には、伏尾台住民が多く利用されるので、「まちなの情報センター」としての機能は発揮できているが、今後、地域諸団体との連携、さらにはまちなの不動産情報、特に空き家対策事業などさらに広範囲の情報センターとして機能させたい。</p>

令和4年6月27日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)
会長名 倉田 晃



事業の評価書

別紙とおり、子育て支援環境整備事業の評価を報告します。

事業名	子育て支援環境整備事業
事業実施前の状況	<p>平成22年度より、伏尾台第1コミュニティセンター内の一室を使用し、幼児向けの備品を整備し、乳幼児を育てる母親に気軽に集まれる場所として提供し、これを運営する子育て支援グループを立ち上げた。その後も毎週、部屋が開設される日時を決めて、無料登録制で参加者を募集する方法で運営している。</p> <p>平成26年度は、会員は67組(134人)、ボランティア会員(12名)で構成され、伏尾台第1コミュニティセンターの小会議室を週2回借りて、子育てサロン「フレンズ」を開設した。年間、121組(延べ242人)の利用があった。上記活動の他、七夕とクリスマス時期の年2回、入園前会員宅を訪問して、手作りカードの贈呈、子育ての悩み等の聞き取りを行う活動を、延べ82回(延べ246名)行った。子育てサロン「フレンズ」を卒業した会員による「親子で遊ぶ会」を8月と12月実施し、23組(延べ46人)の参加があった。</p> <p>平成27年度は、4月から9月は32組、伏尾台第1コミュニティセンターの小会議室を週2回借りて子育てサロン「フレンズ」を開設した。母子99名、スタッフ72名、延べ171名の利用があった。10月3日より、伏尾台コミュニティプラザが開設されて、子育て支援ルームにて活動を行う。10月3日から3月末までの半年間では、子育て支援ルームにて、母子1202名、スタッフ241名、延べ1443名の利用があった。</p> <p>平成28年度は、登録会員数は76組、利用者数は母子2,276名・スタッフ393名の延べ2,669名であった。平成29年度は、登録会員数は80組、利用者数は母子・スタッフの延べ2,377名であった。</p> <p>平成29年度は、登録会員数は80組、利用者数は母子・スタッフの延べ2,377名であった。</p> <p>平成30年度は、登録会員数は90組、利用者数は母子・スタッフの延べ2,309名であり、平成31年度は、登録会員数は85組、利用者数は母子・スタッフの延べ2,176名であり、ママの会・卒会員幼稚園児夏休みの集い・AED講習会・ほそごう学園スクールカウンセラーとの交流会2回を開催した。</p> <p>社協のファミリーサポート事業との連携を進めた。</p> <p>R2年度は、令和2年3月～5月にルームの使用を停止し、その後は人数制限を行ったため、述べ1,155名の利用であった。</p>

事業名	子育て支援環境整備事業
事業実施後の状況	<p>子育て支援ルーム登録会員数は、幼稚園児となる家庭が多く、70組に減少した。令和2年度に続いて、制限下の都度支援ルームの使用を停止し、その後は大幅な人数制限を行ったため、参加要望は多いが、お断りする都度、複数組が共に参加を諦めるため、激減して述べ623名であるが、母子交流の場として定着し、孤独な子育てから親子を守るという目的を達成することができている。</p> <p>社協の子育てサロンは、コロナ感染症拡大の影響で開催を中断中である。</p> <p>利用者数は年々減少傾向にあり、伏尾台の人口構成からやむを得ないこともあるが、利用者を増やすために、社協のファミリーサポート事業との連携して、支援ルームでサポートが行われるが、利用数の増大には至っていない。</p>
事業の効果	<p>協議会主催のフレンズを中心に、ホップ君、自主サークルひよここと連携しての場となっている効果は大であり、細河地区や、池田市内、里帰り母子の利用も増え、ほそごう地域の親子の絆が深まる効果が出ている。</p> <p>ママの会・卒会員幼稚園児夏休みの集いは中止した。ほそごう学園スクールカウンセラーとの交流会を開催し好評を得た。</p> <p>月に二度、伏尾台文庫に依頼しての読み聞かせ会が、本に親しむ機会となって好評であったが、コロナ感染症拡大の防止で中止した。七夕・クリスマスに手作りカードを持参しての恒例の家庭訪問実施は悩み相談の機会となっている。</p> <p>一方、R3年度内に子育て支援ルーム利用者において第2子や第3子の出産が相次いでおり、送迎サービスと併せて子育て支援ルームの運営の効果が出ていると感じられる。</p>

事業名	子育て支援環境整備事業
今後の課題等	<p data-bbox="483 181 1385 434">幼児や未就園児を対象に子育て支援を行っているが、園児や小学校低学年の子供たちの支援を要望される保護者や家族が例年多く、幼稚園児の受け入れを開始したが、乳幼児とは行動・適齢玩具が異なり、乳幼児向け支援室での受け入れは課題が多いため、H30年度半ばから受け入れを中止した。</p> <p data-bbox="483 508 1385 703">園児と母親との子育て支援を別途考えるが、支援者が少なく、また現在の新たな未就園児の親子への広報活動並びに新規登録等の事務処理、さらに就園児となった親子らとの交流、相談で訪れる母親への支援者が全く足りない。</p> <p data-bbox="483 777 1385 1137">年度内の制限がかかる都度、新型コロナウイルス感染症の拡散防止のためルームの使用を中止した。今後の開催方法は、部屋の換気能力を上げることができないため、空気清浄機の利用とともに人数制限を維持するしかなく、他の感染防止策とともに考えなければならない。しかし、人数制限等に関し、概して若い母親たちは、母親同士の交流を図りたいが先で、感染防止について関心が薄いように見受けられる。</p>

令和4年6月28日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)
会長名 倉田 晃



事業の評価書

別紙のとおり、AED管理事業の評価を報告します。

事業名	AED管理事業
事業実施前の状況	<p>阪急バス車庫事務所、伏尾台センターコープ店舗内に設置した。これまで使用されたことがないが、緊急時に備えてメンテナンスが必要である。平成29年度は伏尾台センターコープ店舗内に設置したAEDにおいて、設置から7年を経過したAED装置本体を交換して、引き続き使用可能な状態を維持した。</p> <p>伏尾台センター ミニコープ内に設置したAEDにおいて、パッドを交換して、引き続き使用可能な状態を維持した。また、定期的に設置状態の確認を行うことが必要であり、これを実施している。</p> <p>阪急バス事務所の場合はこの場所まで取りに行くことより救急車を呼ぶ方が効率的であると想定できるため、同事務所のAED本体の交換時期が到来した場合、その設置を継続しないことを確認し、R2年度で撤去された。</p> <p>伏尾台センターマンションの管理室には管理組合が購入したAEDが配置され、ミニコープには、本部からの備品としてAEDが配置されることになり、本事業のAEDを旧伏尾台小学校体育館に配備した。</p>
事業実施後の状況	<p>旧伏尾台小学校体育館内に設置したAEDにおいて、パッドを交換して、引き続き使用可能な状態を維持した。また、定期的に設置状態の確認を行うことが必要であり、これを実施している。</p> <p>旧伏尾台小学校には、ポプラ学園等がAEDを複数台所有しているため、体育館に配備したAED本体の交換時期が到来した場合、その設置を継続しないことを確認した。</p>
事業の効果	<p>毎日、ほそごう学園のスクールバス運転手が詰めている間、フリースクールが開校している間、体育館を利用している住民がいる間、体育館玄関内に、AEDが使用可能な状態で常備されることになった。</p>
今後の課題等	<p>毎年9月に防災防犯委員会の委員で使用訓練を実施し、毎年11月に総合防災訓練で参加者に使用体験を実施しているが、さらに住民向けの使用訓練の機会を設けることが必要である。</p>

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)

会長名 倉田 晃



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	伏尾台創生会議2020宣言広報事業
事業実施前の状況	<p>市の公募により平成28年1月に組織された伏尾台創生会議2020は、平成28年3月26日に伏尾台地区再生のための提言を市に提出するとともに、伏尾台「子育てにやさしいまち」宣言を行なった。</p> <p>この宣言を聞いた伏尾台住民が、伏尾台の入り口である「新吉田橋」のライトアップと上記の宣言を広報するサイン設備を寄付して下さることになり、平成28年11月末に設備が完成した。</p> <p>市への寄付設備の贈呈が行われたが、H28年11月からの電気代などの維持管理はコミュニティ推進協議会が行うことになった。</p>
事業実施後の状況	<p>「新吉田橋」のライトアップ装置は、コンピュータ制御によるLEDライト設備で、予め設定された日没から夜明けの夜間のみ点灯されるため、比較的安価な電気代で維持できた。</p> <p>また、住民の手で、伏尾台「子育てにやさしいまち」宣言が書かれた横断幕を点検することができた。ただし、退色は進行し、汚れが目立つようになっている。</p>
事業の効果	<p>新吉田橋の欄干に設けられた横断幕は、国道423号線の北行き車線から容易に視認できるため、伏尾台地区がここにあること、子育てにやさしいまち宣言した地区であることを国道往来者に広報できている。</p> <p>R2年、1丁目に居住し、11月に出産した30代夫婦は、横断幕を見て地域を見学し、保育所などが近いことから居住を決めたという。</p> <p>また、夕方から夜間に帰宅する伏尾台住民は、ライトアップされた新吉田橋を見ることで、我が家に帰ってきたことを実感できると、好評である。</p>
今後の課題等	<p>協議会としては、電気代の支払いのみの管理しかできない。住民にとっては、横断幕の点検はできるが、その清掃や修繕などは不可能である。特に、横断幕を取り付けている部分の橋の欄干がかなり汚れている。また、ライトアップ装置の点検維持も住民には行うことができないが、設備寄贈者が点検しており、故障等は発生していない。</p>

令和4年6月27日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)
会長名 倉田 晃



事業の評価書

別紙のとおり、伏尾台地域送迎サービス事業の評価を報告します。

事業名	伏尾台地域送迎サービス事業
事業実施前の状況	<p>伏尾台の住民、特に自家用車などを持たない、高齢や病気などで運転ができない、伏尾台センターへ買い物や通院で通う場合に徒歩以外に交通手段を持たないなどの地域内交通弱者に対する救済手段が全くなかった。</p> <p>そこで、「伏尾台送迎サービス運営委員会」を組織したボランティアグループが、軽自動車車両のリース代、燃料費、各種保険に要する費用の一部を市のアクティブシニア補助金制度で負担し、令和2年1月から3月に、伏尾台地域内限定で無料無償で送迎する「伏尾台らくらく送迎」が行われた。</p> <p>令和2年度は、送迎車両の運転を無償ボランティアで行う「伏尾台送迎サービス運営委員会」を協議会内に取り組むことで、軽自動車車両のリース代、燃料費、各種保険に要する費用の全額を協議会が事業費として負担することで、「伏尾台らくらく送迎」を令和2年4月以降も継続実施した。</p> <p>一方で、本事業の今後の継続を考えて、国交省の日本版MaaS実証実験の実施地に組み入れられるよう、市の担当部局に令和2年6月末までに立候補をお願いした結果、選択されて令和2年12月～令和3年2月に実験が実施された。</p> <p>MaaS実証実験中にキャンペーンの効果もあり、登録者数は190名を超えた。送迎申込回数は、本年度内で520回を超え、送迎人数は800人を超えた。</p>
事業実施後の状況	<p>R2年、コロナ禍の最中のスタートとなったが、地域住民に送迎サービスの再開を告知して、事前個人登録制とし、伏尾台コミュニティプラザに申し込みの電話をかけることで、送迎サービスを受けることができるようにした。</p> <p>送迎車両は、リース契約を行う軽自動車を利用する。送迎ドライバーは、予め事務局に乗務可能な日時を登録しておき、利用者の申し込み日時とのマッチングを図り、送迎を行った。</p> <p>R3年度は、引き続いてコロナ禍で、送迎申し込みにおおいにムラが見られ、送迎申し込み回数は、415回、送迎人数は521人であった。</p>

事業名	伏尾台地域送迎サービス事業
事業の効果	<p>R2年1月開始以来、R4年3月月末時点で、登録者数は210名を超え、送迎申込回数は1100回を超え、送迎人数は1400名を超えた。</p> <p>送迎サービスのリピーターたちには、伏尾台での生活に欠かせないサービスであるとの評価をいただいた。</p> <p>また、子育て支援ルームに通う母子等の中に、妊婦が増えて送迎サービスの利用申し込みが多くなってきた。子育てにやさしいまち宣言の実行がなされている。</p>
今後の課題等	<p>無償ボランティアドライバーは、事業のスタート時から2名が健康上の理由からリタイアしたが、幸い2名の補充が叶い現在に至り、現在10名である。</p> <p>平均年齢76歳のドライバーが、平均年齢82歳の登録者を送迎しており、本事業が地域に不可欠な事業となった今、登録者数は増加傾向にあり、当然平均年齢が上昇する中、送迎ドライバーの確保をどうするかが問題である。</p> <p>しかし、事業免許を持たない住民高齢者らが住民を送迎するには、無償無料の送迎を行う以外手がないこと自体が、ドライバーを確保できない原因であり、今後の事業継続が危ぶまれる。</p> <p>伏尾台地域内限定で無料無償で送迎する「伏尾台らくらく送迎」を、地域の高齢化率が年々上昇する中で、辛うじて実施できている。なんとか協議会で事業を維持している間に、市が事業主体として予算化し、地域の交通事業者、団体に事業委託する形態の事業、有料有償の「伏尾台らくらく送迎」事業化を検討していただきたい。</p>